## PRESS RELEASE



令和5年||月|5日 愛媛大学

## くまちなか大学 トークセミナー vol.3〉 「絵のある街角 三津に壁画が増えたワケ。」を開催

愛媛大学社会連携推進機構地域共創研究センターでは、「まちなか大学トークセミナー」を開催します。

2010年代初頭より、新しい価値観を持った商店主が増え、地区内外からの注目を集めるまちになりつつある松山市三津地区。魅力的な店舗の増加と併行するように、壁画やシャッター画も増えつつありますが、それらの作品がどういった経緯で増えているのかについては、意外と知られていません。

今回のまちなか大学では、壁画制作に関わったアーティストをメインゲストに迎えて、作品の 制作経緯や裏話についてお聞きするとともに、「三津の魅力」について改めて議論します。

つきましては、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時:令和5年11月24日(金) 18:00~20:00

会 場 :株式会社山谷 2 階(〒791-8061 愛媛県松山市三津 | 丁目 5-17)

定 員:対面のみ30名

参加費:500円(要事前申込)

締 切 : 令和 5 年 I I 月 22 日 (水)

主 催 : 愛媛大学社会連携推進機構地域共創研究センター

三津浜地区まちづくり協議会

申 込 :yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp(山口信夫准教授メールアドレス)

上記アドレスへ①~③をご連絡ください。

①お名前 ②ご所属 ③連絡先

## 本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域共創研究センター(まちなか大学 担当)

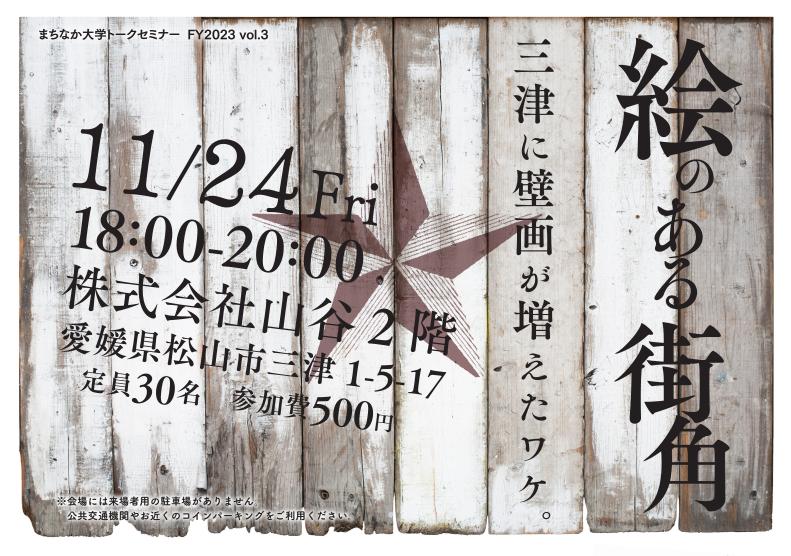
准教授 山口 信夫(やまぐち のぶお)

Mail: yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp

Tel: 089-927-8512

(愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室)

※送付資料2枚(本紙を含む)



2010年代初頭より、新しい価値観を持った商店主が増え、地区 内外からの注目を集めるまちになりつつある三津。魅力的な店舗 の増加と併行するように、壁画やシャッター画も増えつつあります が、それらの作品がどういった経緯で増えているのかについては、

意外と知られていません。今回のまちなか大学では、壁画制作に 関わったアーティストをメインゲストにお呼びし、作品の制作経緯 や裏話についてお話しをお聞きするとともに、「三津の魅力」にう いて改めて議論してみたいと思います。



高知県香南市出身・在住の画家。多摩美術大学大学院修士課 程絵画研究領域で学んだのち、東京で中学校の美術講師を務め ていた時期に、縁あって三津地区内の民家の外壁をキャンバス にして壁画を制作。その後、高知県馬路村の地域おこし協力隊員 を経験したのち、結婚を機に故郷の香南市に戻り、以降、同市を 活動拠点としつつ画家としての活動を継続中。近年では、セラミッ ク作品の制作にも精力的に取り組み、活動の幅を拡げている。パ ートナーの実家はニラ農家。



京都を拠点に活動してきたライヴペイント集団(現在は活動休止 中)。メンバーはMAD-RICE、ENTER、KONIROW、EXPOK の4人で構成される。各々、モチーフとするアイコン(渦、丸、四 角...etc.)を有し、相互に影響を受け/与え合いながら、表現し たい感情をペイントしてきた。2016年に三津地区内のN's Kitchen\*\*&laboと、渡し舟近くの事業所跡地の外壁でライヴペ イントを披露。現在でもその名残は確認可能である。今回のトー クイベントには、メンバーを代表してENTERが参加予定。

Special Guest ▶小池 哲 (三津浜商店街会長)

進行▶愛媛大学山口信夫ゼミ ╣((⑤)))))

問い合せ先 愛媛大学地域共創研究センターまちなか大学担当 yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp (担当:山口)

参加を希望される方はタイトルに「まちなか大学 vol.3 参加希望」と明記したうえで、 本文に①お名前(SNS ネーム可)、②連絡先、③ご所属をご記入のうえ、上記のアドレスまで電子メールで お申込みください(11/22締切)。 ご不明な点についてのお問い合わせのみ、お電話でも受け付けています。 Tel 089-927-8512 (社会連携支援部地域連携推進室)

Facebook



